

壁高欄の構築を道路橋床版の製作と同時に実施することで、現場での作業を省略し、工程の短縮と品質の向上・確保を実現しました。

新設床版・壁高欄技術

耐震補強関連技術

機械技術

他リニューアル技術事例

お客様のメリット

- 現場での鉄筋・型枠組立、コンクリート打設作業が省略できるので、工程が短縮できます。
- 工場で製作するため、安定した品質の製品の供給が可能になります。
- 高速道路内を走行する運搬車両も減らすことができるため、交通事故のリスクを低減できます。

技術の特徴

地覆部の鉄筋養生が不要

現場打ち、またはプレキャスト壁高欄の場合、PC床版製作後に地覆部の鉄筋が必ず露出するため、鉄筋の防錆措置や養生が必要でした。床版と壁高欄とを一体で打設することで、それらの対策が不要となります。

壁高欄接続部への水の侵入リスクを低減

PC床版と壁高欄とを一体で打設することで、接続部の打ち継ぎ目がなくなり、降雨等による構造物内部への水の侵入リスクを低減することができます。

※工場で床版と壁高欄を分割して打設する場合は接続部に打ち継ぎ目が発生します。

品質の安定と向上

工場で安定した環境下で製作されるため、高品質で精度の高い製品を現場に供給することができます。

作業効率の向上による工程短縮

製作に天候の影響を受けず、現場での鉄筋・型枠組立、コンクリート打設作業が省略できるため、工程短縮が可能となります。

作業環境の改善

現場での高所作業が減るため、作業時の安全性が向上します。

第三者に対する配慮

現場作業の低減により、現場での騒音・振動の発生を抑え、環境負荷を軽減できます。また、コンクリート打設作業における通行車両へのコンクリート飛散リスクがなくなります。高速道路を走行する運搬車両も減らすことができるため、交通事故のリスクを低減できます。

全断面施工への適用

PC床版の割付幅や線形を検討し、運搬可能な製品重量とすることで、全断面のPC床版にも適用することができます。



壁高欄一体型の施工状況



北市場高架橋 壁高欄一体型のPC床版

実績・事例

以下の工事において、壁高欄一体型のプレキャストPC床版を使用しました。

- ・中日本高速道路(株)名古屋支社 中央自動車道 北市場高架橋床版取替工事（岐阜県）
製作工場：(株)ナルックス 員弁工場
- ・東日本高速道路(株)関東支社 みちのく橋床版取替工事（栃木県）
製作工場：(株)富士ピー・エス 関東工場



▲プレリリースはこちら